

(様式1)

自己評価表(令和6年度)

愛媛県立松山商業高等学校 定時制
学校番号(25)

教育方針	個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求する人間の育成に努め、新しい職業観のもとに豊かな情操を身に付け、勤労と責任を重んずる資質を養い、国家社会の有為なる形成者として創造性と実践力に富む心身ともに健全な商業人の育成を期する。	重点目標	地域社会に根ざした商業教育の推進 — 地域の持続的発展を担う人材の育成 —
------	--	------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
教科指導	各種検定試験への挑戦	各種検定試験の取得に全員が挑戦すること(挑戦率100%)を目指します。 A:100%、B:99%~80%、C:79%~60%、D:59%~40%、E:40%未満	A	生徒全員が各自の学習到達度に応じた検定試験及び上位級に挑戦した。挑戦率100%を達成した。	検定を申し込んだにも関わらず欠席が多いのが課題である。引き続き学習到達度に応じた検定試験に挑戦させ、自信や達成感を味わわせる指導を心掛けていきたい。
		各種検定試験合格率70%以上を目指します。 A:70%以上、B:69%~60%、C:59%~50%、D:49%~40%、E:40%未満	C	本年度の合格率は56.4%であった。昨年度の合格率は68.6%であったので少し下がっている。	受検する検定試験はなるべく合格させられるように、適切な目標設定と粘り強い指導を心掛ける。
	漢字テストへの挑戦	漢字テスト平均80点以上の生徒50%以上を目指します。 A:50%以上、B:49%~35%、C:34%~20%、D:19%~10%、E:20%未満	C	本年度の平均点80点以上の者は4名で33.3%であった。昨年度は5名で、41.7%であったので、少し下がっている。	今年度、平均点が70点台の者が5名いるが、欠席のため0点になり平均点を下げている。引き続き、欠席をできるだけしないように指導を続けたい。
	分かりやすく特色ある授業	工夫のある楽しい授業を展開し、学んだことが将来に役立つと感じる生徒100%を目指します。 A:100~95%、B:94%~90%、C:89%~85%、D:84%~80%、E:80%未満	B	生徒アンケートの「授業に工夫があり、分かりやすく楽しい授業か」及び「学んだことが将来役に立つか」の平均値は4点満点中3.7であり、高い水準を維持している。	分かりやすく楽しい授業が展開できるよう授業評価などを通して授業改善に努めたい。
特別活動	学校行事への参加	生徒が主体的に学校行事に取り組み、学校行事の満足度100%を目指します。 A:100%~90%、B:89%~70%、C:69%~60%、D:59%~50%、E:50%未満	A	生徒アンケートの「学校行事の実施内容は適切で、積極的に参加でき充実していますか」という問いに肯定的な回答をしたものは100%であった。	生徒が主体的に活動し、目標である100%を達成することができた。来年度も生徒の意見を取り入れながら学校行事を充実させていきたい。
生徒指導	出席率の向上	出席率90%以上を目指します。 A:90%以上、B:89%~80%、C:79%~70%、D:69%~60%、E:60%未満	B	ほぼ例年通りの数値であるが減少傾向となっている。(87.7%)	家庭の事情による欠席もあるので、単純な数値の上下を気にすることなく、今後も今の高水準を維持できるよう、生徒理解に努めていきたい。
	挨拶の励行	さわやかな挨拶ができる生徒100%を目指します。 A:100%、B:99%~90%、C:89%~80%、D:79%~70%、E:70%未満	B	ほとんどの生徒が、校内での挨拶ができています。授業の開始や終わりの挨拶もさわやかな挨拶ができています。	まだまだ受け身の生徒が多い。自ら進んで気持ちの良い挨拶ができるように指導していきたい。
	生徒理解	年間5回以上の個人面談や、年間2回以上の学校生活アンケートを行うなど、生徒理解に努めます。 A:5回以上、B:4回、C:3回、D:2回、E:1回未満	A	SHRの前後を活用し、生徒と話し合ったり、様子や表情を細やかに観察したりすることができている。また、学校生活アンケートの気になる記述は共有し、生徒理解とサポートに努めている。	多くの生徒が何かしらの困り感をかかえている。気分の落ち込みにより登校ができないこともあるため、些細な変化にも気づくことができるよう今後もコミュニケーションを大切にしていきたい。
保護者連携	保護者の学校行事への参加	保護者の学校行事への出席率50%以上を目指します。 A:50%以上、B:49%~35%、C:34%~20%、D:19%~10%、E:20%未満	B	全保護者参加の学校行事はPTA総会(参観授業・個別懇談)及び運動会である。PTA総会参加保護者は3名(15%)、運動会6家族(50%)17名という結果である。	定時制の場合、18時以降に行事が始まることが多いため、夜まで勤務を終えて、遅れて参加する保護者が多かった。運動会については参加人数がかなり増えた。
		ホームページの更新を年間80回以上行い、生徒の活動状況を積極的にお伝えします。 A:80回以上、B:70回以上、C:60回以上、D:50回以上、E:50回未満	E	ホームページの更新は1月末現在で39回である。昨年度に比べて更新頻度が大幅に減っている。	学校行事を更新するだけでは目標を達成するのは不可能だと思うので、更新内容の工夫をしなければならない。
進路指導	進路実現の支援	各機関との連携を密に行い、進路実現100%を目指します。 A:100%、B:99%~90%、C:89%~80%、D:79%~70%、E:70%未満	A	生徒の納得のいく進路実現ができた。卒業後も支援が必要な生徒については、関係機関と連携し、支援が継続する体制を作ることができた。	早期に就職・進学意志を決定させ、教職員とともに進路先開拓・進路実現を果たす。
教職員	業務改善・働き方改革	年次有給休暇の取得率80%以上を目指します。 A:80%以上、B:79%~70%、C:69%~60%、D:59%~50%、E:50%未満	B	令和6年8月末時点での取得率は、72.5%であった。テレワークや時差出勤の活用など多様な働き方の推進によって、生産性の向上を目指した。	お互いの働き方を見える化することで、多様な働き方を認め合う風土を醸成し、働き方に関する最新の法令等の情報共有に努めたい。

※評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。